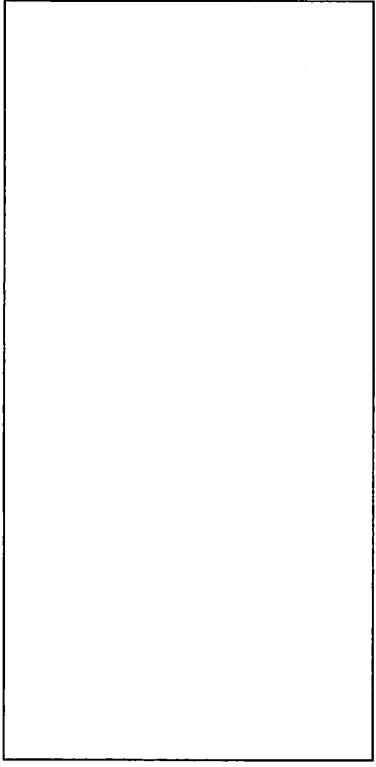


てき あい  
敵を愛する

おや あい  
親の愛

おや あい  
親の愛がどんなものか考えて、おも  
つぎの空白くうはくに書いてください。



てき あい おし  
イエスさまは敵を愛しなさいと教える

てき あい おし  
イエスさまは敵を愛しなさいと教えました。この

ことば い み かんが  
言葉の意味をよく考えてみると、ここでは父なる神

あい  
の愛について言っている事がわかります。父なる神の

あい おや こと も あい おな こと も  
愛は、親が子供を愛するのと同じです。子供がいたず

なに わる こと おや  
らをしたり、何か悪い事をする、親はおこつてお尻

しよくじ た とき  
をぶつたり、食事を食べさせない時もあります。でも、

わる こと じかん こと も  
どんなに悪い事をして、もう自分の子供ではないと

い  
言っつてほつたらかしにする親はいません。

おや こと も にく  
親が子供をしかるのは、子供を憎んでいるからでは

なく、子供の事を考えているからです。子供の悪い点をあらためさせるために、しかりつける事も必要なのです。

父なる神の愛から考えると、どんな人に対しても

同じように行動する事が求められています。たとえば、

自分の気にいらぬ人であっても、その人の持つてい

るよい面を認め、悪い面をなくすように接していく

必要があります。お互いの足りない面ばかりを見てし

まうと、ついつい相手を憎んだり、相手を批判してし

まいます。これではいつまでたっても愛し合う事がで

きません。

どんな人でも何かよい点を持つているはず。お

互いの持つているよさを認め合えば、お互いに愛し合

う事もできます。人は自分の足りない面ばかりを非難

されると、自信を持つてなくなり、いじけてしまいます。

しかし、自分の持つているよさをほめられたら元気に

なります。こうすれば、おたがいに成長して行く事が

できます。

